

# 東村山ふるさと歴史館 平成24年度春 企画展

会期：4月28日（土）～7月8日（日）

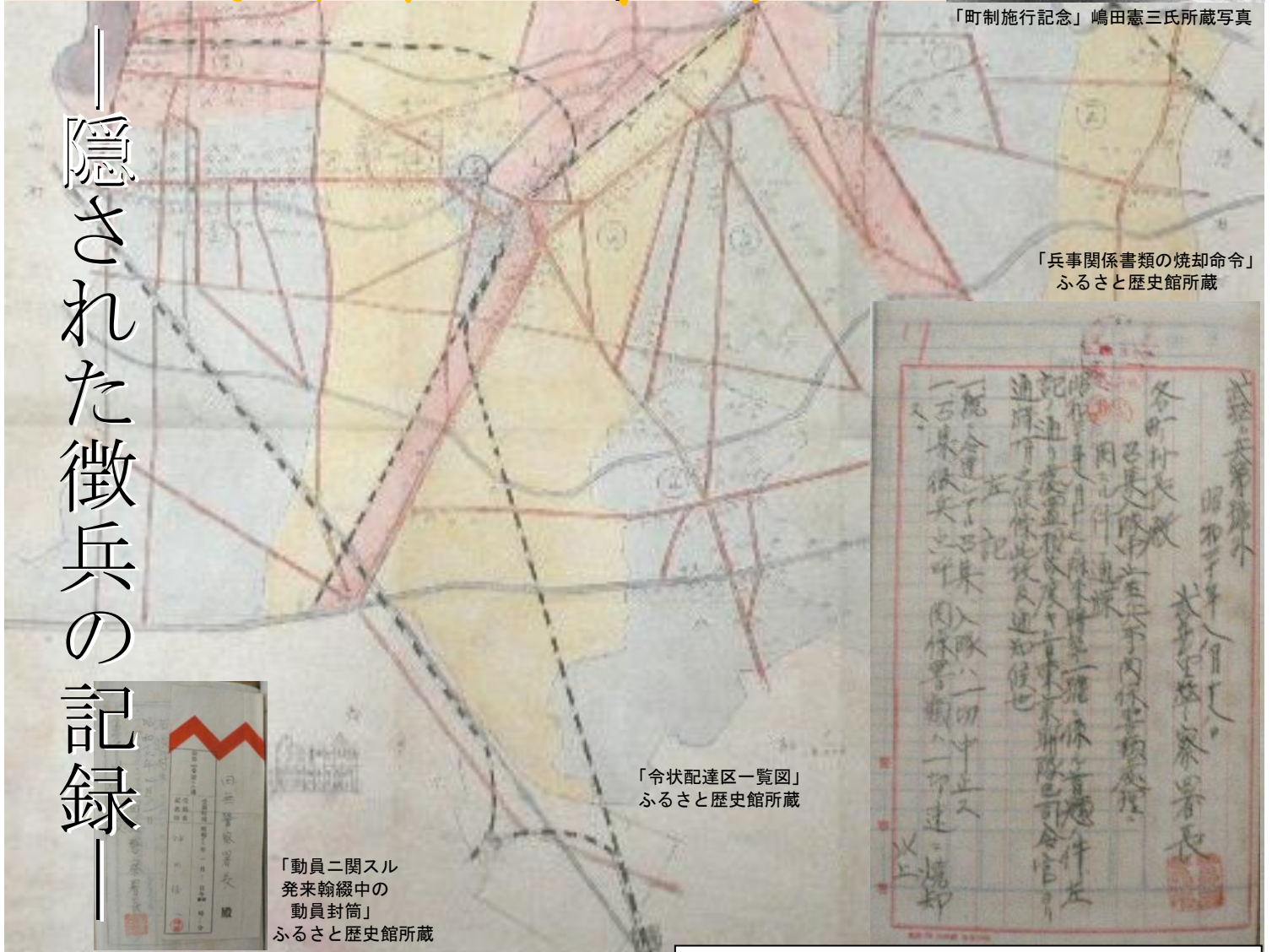
入場無料

## 町の記録が語る 戦時中の東村山



「町制施行記念」嶋田憲三氏所蔵写真

— 隠された徴兵の記録 —



「兵事関係書類の焼却命令」  
ふるさと歴史館所蔵

「令状配達区一覧図」  
ふるさと歴史館所蔵

「動員二関スル  
発来翰綴中の  
動員封筒」  
ふるさと歴史館所蔵

### 東村山ふるさと歴史館

住所 〒189-0021 東京都東村山市諏訪町1-6-3

電話 042-396-3800

E-Mail [urusato@m01.city.higashimurayama.tokyo.jp](mailto:urusato@m01.city.higashimurayama.tokyo.jp)

WEB <http://www.city.higashimurayama.tokyo.jp/>

(東村山市公式サイト→東村山の楽しみ方→歴史・文化を学ぶ)

開館時間 9:30～17:00 (入館は16:30まで)

月・火曜日休館 (但し4月30日は開館し、5月2日は休館)

交通案内 西武新宿線・国分寺線・西武園線「東村山駅」下車

西口より北へ徒歩8分またはグリーンバス諏訪町循環に乗り

「ふるさと歴史館」停留所下車

3台分の駐車場のため、公共交通機関をご利用ください

### 東村山ふるさと歴史館～八国山たいけんの里 案内図



八国山たいけんの里でも関連コーナーとして、「戦時中の貯水池」を展示します (西武鉄道西武園線「西武園駅」より東へ徒歩10分)。

# 東村山ふるさと歴史館 平成 24 年度春 企画展「町の記録が語る戦時中の東村山」

第二次世界大戦終結から 65 年以上が過ぎ、戦争の記憶も風化しつつあります。このような時代であるからこそ、「戦争」について語り継いでいく必要があります。東村山ふるさと歴史館では平成 19 年度に企画展「あの日々の記憶—東村山の空襲と学童疎開—」を、平成 20 年度に企画展「陸軍少年通信兵学校」を開催しましたが、戦時中の東村山全体を考えると全国的に特異な項目が多く、全てを考察するには不十分でした。

今回の展示では、「町の記録が語る戦時中の東村山」として、大戦中に東村山町長であった小池喜八氏の日記や、兵事関係書類をはじめとする東村山町の公文書類を取り上げ、戦時中の東村山の様子について、以下の項目に分けて紹介します。展示を通じ、戦時中の東村山を明らかにするとともに、記録の大切さを伝えていきます。

## 1. 警防団と東村山の空襲

米軍は中島飛行機武蔵製作所・所沢飛行場・日立航空機立川工場・立川飛行機会社などを目標に空襲し、その侵入コース付近にあった東村山地域も被害を受け、集団疎開地にまで爆弾が落ちました。さらに秋津にはB29 が墜落、地元民により遺体が埋葬され、戦後には遺体・遺品が返還、平和観音が建立されました。



「平和観音」小俣権太郎氏所蔵写真

## 2. 軍関係施設と軍部隊の駐屯

東村山は交通の便がよく、広大な土地があるため、東村山・小平市境には陸軍少年通信兵学校・傷痍軍人武蔵療養所・陸軍兵器補給廠小平分廠などがありました。戦争末期に東村山町は、資材提供や、勤労奉仕による掩体壕構築等で多くの軍部隊と関係を持ち、化成国民学校には本土決戦のために歩兵第 503 聯隊の 1 部隊が駐屯しました。



「所沢飛行場の掩体壕」所沢市生涯学習推進センター所蔵写真

## 3. 東村山への疎開・錬成道場

東村山は学童集団疎開を受け入れていました。赤坂国民学校の生徒が正福寺・梅岩寺に分宿し、化成国民学校で学びました。同じ頃、東京女子高等師範学校附属国民学校の生徒が同校の郊外園を疎開学園として来町していました。また、狭山丘陵に社会教育団体「修養団」の皇民道場ができ、修養団の運営する正明中学校も開校しました。



「皇民道場建設敷地検分」ふるさと歴史館所蔵写真

## 4. 兵事関係書類

軍が作成した召集令状の配達業務は市町村の役割でした。その関係資料である兵事関係書類は全国に存在したのですが、それらのほとんどは戦後に焼却されてしまいました。しかし、東村山町役場の兵事主任がその命令に反して秘匿し、貴重な記録が残されました。こうした資料は全国でも砺波市・所沢市・長浜市など 20 数例のみです。



「動員実施宿直員業務書」ふるさと歴史館所蔵

## 5. 町長日記にみる戦時中の東村山

東村山には戦時中の町長の日記が残されていて、当時の町の状況がわかります。東条首相などが「翼壮式麦作栽培」を視察に訪れ、東村山駅北方には尿尿貯溜槽が作られました。さらに、勤労奉仕のほか、国民義勇隊や地区特設警備隊の編成についても記述があり、「根こそぎ動員」の様子がわかります。



「昭和 19 年小池喜八日記」小池八郎氏所蔵

## 企画展付随事業

### ○講演会「東村山村（町）兵事関係書類について」

日時：6月10日（日）午後2時～4時

内容：全国的に残存例の少ない徴兵の記録である、東村山の兵事関係書類について話をします。

講師：山本和重氏（東海大学教授）

申込み：5月17日午前9時半より、直接または電話でふるさと歴史館へ（電話：042-396-3800）

参加費：200円 定員：80名（先着）

### ○上演「紙芝居 南秋津の平和観音」（作 語り 大井芳文氏 絵 大井直子氏）

### ●講演「平和観音建立と米兵遺族をたずね歩いて」（小俣光明氏）

日時：5月27日（日）午後1時30分～3時30分

内容：南秋津に墜落したB29にまつわる平和観音の紙芝居を上演します。上演後に平和観音の建立について話をします。

申込み：参加自由 参加費：無料 定員：80名（先着）

### ○展示解説

日時：5月4日（祝）・6月17日（日） 午後1時30分～2時

申込み：参加自由 参加費：無料 定員：25名（先着）